

5563 中山道ママチャリ旅：今昔の思い・心模様 125

夜明けの町を、東京へ。下記、ご覧のような光景で、平凡で、日常と変わらない。
いろいろな出会いもあって、私には面白い楽しいことなのだが、ふと、客観的な視点からは、
どう、うつるのだろう。わざわざ、ママチャリで、身体と時間と、お金もかかる。
人生は、選択と決断の繰り返し。この選択は正しかったのかどうか。

正しいとか、どうかの問題ではないが、少なくとも、強制された状況ではない。脱日常、**自由**。
そんな難しいことを考えていたわけではない。私には、この体験は貴重。
この時、自分が選択した人生の転換点。この選択の体験と気づきで、今日がある。
来年の年賀状。2021年12月20日、宛名だけ手書き、書き終わり投函。数もあった。



～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

いろいろな友人知人、ご縁のあった人の顔を思い浮かべながら、
幸い、ほとんどの人は、覚えているが、これから、風化もする危惧もある。**コロナ下の昨今**、
それぞれ環境と状況が違うので、誤解もあるだろうが、・・・
日常、また、旅の途上、五感で感じ、現場で愚鈍に体感して、**心身健康最優先を再確認**。

来年のことはわからないが、感謝とお礼の意味で、突然、記述。
今日あるのは、そうした方々のご縁とサポートのおかげ。
ふと、中山道ひとり旅、特に印象に残った画像、どこから見ても、同じようで同じでない。
心模様がそうだったのか、またまた、道草。天空の**お月様、最高！**

